

みんなで子育て No. 6

夏休み期間中は、親子で一緒に体験する活動が多数計画され、開催されましたので紹介します！

岐阜市立合渡小学校 「ブンブンモーターで動くカップめんのUFO」づくり 7月24日



合渡小学校では、隣接する合渡公民館さんとコラボして、親子体験型（B）の家庭教育学級を開催されました。講師の先生の都合もあり、日曜日の開催でしたが、仕事がお休みであることが多い日曜日ということもあり、参加された保護者の半分近くがお父さんでした。家庭教育学級を意図的に土日に計画し、普段は仕事の関係で参加していただけない保護者にも参加しやすくなるよう工夫するのも1つの方法だと思います。

講師は、科学教室・ものづくり教室を積極的に行っている「ガリレオクラブ」の山本了司氏とその奥様が務められました。今回、子どもたちが作成したモーターを使った動くおもちゃは、山本先生のオリジナル作品で、400円ほどの予算で製作できるようにと使う部品の選別も工夫されているということでした。

この日は、34名の親子が、1時間ほどかけてUFOを作成しましたが、低学年の子どもたちでも完成できるように丁寧な準備をいただいていたので、保護者の方が見守る中、ほとんど子どもが自分の力だけで完成させていました。自分の手でモーターを使った動くおもちゃを作り上げることができたことは、子どもたちにとってかけがえのない経験です。おもちゃづくり後には、山本先生によるおもしろい実験やオリジナル作品の紹介が行われましたが、子どもたちが前のめりになって話を聞いたり見入ったりする姿をみていると、科学への関心は、けっして薄れていないなあと感じました。

役員の方々が講師となって、親子活動を仕組まれることにも挑戦していただけるとよいのではないのでしょうか。

案内

第1回家庭教育学級のご案内

夏休み親子教室

『ブルブルモーターで動くカップめんのUFO』

梅雨の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。また、日頃はPTA活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、見出しの会を下記の通り開催致します。親子で協力して一つの作品を作り上げる楽しさを体験していただき、夏休みの思い出としてもらえたらと思います。皆様お誘い合わせの上、ご参加下さいますようお願い致します。

記

- | | | | |
|---|------|-----------------|------------|
| 1 | 日 時 | 令和4年7月24日(日) | 9:30~11:00 |
| 2 | 場 所 | 合渡公民館 2階ホール | |
| 3 | 参加費用 | 無料 | |
| 4 | 持ち物 | 水筒(任意) | |
| 5 | 講 師 | ガリレオクラブ 山本了司 先生 | |
| 6 | 共 催 | 合渡公民館 | |

※1年生~3年生は必ず親子でご参加ください。4年生以上は1人でもOKです。

※コロナ禍につき人数制限(16組)のもと実施させていただきますが、定員を超えた場合は先着順とさせていただきますのでご了承ください。後日お便りにて連絡させていただきます。また、感染状況により変更になる事があります。

新型コロナウイルス感染症第7波の拡大に伴い、追加案内を発出され、注意喚起を行ったり、チェックシート提出を促したりすることは大切なことですね。

追加案内

この度は、第1回家庭教育学級『夏休み親子教室』へのお申し込み、誠にありがとうございます。

今回、お申込み頂いた皆様ご参加いただける事になりました。当日は、お気をつけてお越しください。

また、同封の「公民館講座受講者チェックシート」にご記入のうえ、当日、受付の際にご提出をお願いします。

1家族1枚となりますので、受講者名の欄に参加される方全員のお名前を記入して下さい。

アンケート

*評価: 良い○ 普通△ 悪い×

- 参加しやすい時期・日時でしたか ()
悪いと答えた方に: 参加しやすい日時はいつですか ()
- 講師の方の話の内容はどうでしたか ()
- 今後の子供との関わりに役立つ内容でしたか ()
- 講座の雰囲気はどうでしたか ()
- 参加してよかったですか はい ・ いいえ ()
いいた理由 ()
- 今後、開催してほしい講座はありますか はい ・ いいえ ()
はいと答えた方 ()

今日の講座のご感想をご自由にお書きください

《参加者の感想》

- 親子で楽しく工作できました。楽しんで作っている子どもをみれば、家でも一緒にやってあげたいと思いました。(親)
- 少しむずかしかったけど、うまくできて楽しめました。(子)
- 親子で参加しました。とても楽しく作業することができました。また、機会があったら参加したいです。(親)
- 子どもが大変興味深く取り組んでおりました。参加してとてもよかったですと感じています。(親)
- 家でも兄弟で物づくりをしていて、子どもの希望で参加しました。細かい作業が苦手だったけれど、ほとんど手をだすことなく完成できていたので、成長を感じることができました。(親)



第2回 子育て広場
親子料理教室「アルミ缶炊飯」のご案内

盛夏の候、会員の皆様には、日頃よりPTA 活動にご協力頂き、誠にありがとうございます。
近年はコロナ禍のため、開催を見送ってまいりました「親子料理教室」を、学校との相談の上、今年度は開催することにいたしました。

第2回子育て広場では、「調理から試食まで道具を共有しない」というガイドラインのもと、災害時やキャンプで使える「アルミ缶炊飯」を実施いたします。調理にあたり、カッターなどの刃物と火を使いますことをご承知おください。

研修委員一同、皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 【日時】 令和4年7月27日(水) 10:00~11:00
- 【場所】 鵜沼第一小学校 調理室
- 【内容】 350ml アルミ缶を使った炊飯
- 【定員】 12組限定 (但し、1組につき、児童1名+保護者1名の2名まで)
※応募者多数の場合は抽選とし、当選の方のみご連絡いたします。
- 【講師】 元ボーイスカウト各務原1団 カブ隊隊長 大竹和行 様
- 【持ち物】 カッター、ハサミ、缶切り、油性ペン、軍手、350ml アルミ缶4個
上履き、筆記用具(アンケート記入用)
- 【申込期限】 7月6日(水)までに担任の先生にご提出下さい。



今回作成したアルミ缶かまどは、何度も使用が可能のため、お土産として持ち帰りましたが、同じアルミ缶を使って、液体燃料用のミニガスコンロ(左)を作製することも可能であることが紹介されました。



《保護者の感想》

- ・知らないことを「知る」「経験する」ことが少ない中、貴重な経験ができました。楽しかったです。防災への意識も高まりました。
- ・アルミ缶が災害時や家の外で調理道具に変わることを初めて知り、新しい発見をしました。子どもと二人楽しく参加させていただきました。
- ・子どもがこんなにも白ごはんを食べるのを初めて見ました。とてもふっくらしていて、おいしかったです。

第2回子育て広場 親子料理教室「アルミ缶炊飯」アンケート (子)

今日は親子料理教室「アルミ缶炊飯」に参加しアンケート回答をお願いします。

- Q1 家族みんなで料理することはありますか？
・ はい → 何を作りましたか？
・ いいえ
- Q2 1人で料理をしたことがありますか？
・ はい → 何を作りましたか？
・ いいえ
- Q3 地震などの災害のときのために、準備したことがありますか？
・ はい → 何を準備しましたか？
・ いいえ
- Q4 今日の親子料理教室「アルミ缶炊飯」の感想

第2回子育て広場 親子料理教室「アルミ缶炊飯」アンケート (親)

本日は第2回子育て広場にご参加いただきありがとうございます。
アンケートのご記入にご協力ください。

- Q1 学校での調理実習がないため、ご家庭で何か取り組んでいることはありますか？
・ はい → 具体的に何をしていますか？
・ いいえ
- Q2 災害時の食事について、普段から準備したり、心がけたりしていることはありますか？
・ はい → 具体的にお願いします
・ いいえ
- Q3 次年度以降、親子料理教室が開催される場合、やってみたいメニューやテーマなどがありましたら教えてください。

《子どもの感想》

- ・勉強になったし、楽しかったです。また家でもアルミ缶炊飯をやりたいです。
- ・すごくもっちりしていて、おいしかったです。

Q4 本日の調理のご感想をお願いします

瑞穂市「パパママくらぶ」7月8日



園や小中学校で、家庭教育学級の開催をお願いしていますが、子育てについては出産と同時に始まります。つまり、入園、入所の前段階においても、親が**子育てについて学ぶことができるように、各市町においてその機会が設けられています。**

瑞穂市では、**出産前の妊婦さんとそのパートナーに対して、子育てのための興味深い講習**を行ってまいりますので、その取り組みを紹介します。

左の写真は、その講習の1つです。この日は妊婦体験と沐浴の実習が行われました。

妊婦体験では、5kgほどのおもりを身に付け、床に転がってもらい、おなかが重くて仰向けには寝られないことや寝返りをうつのも大変なこと。床に落ちた物を拾うことが困難で、階段を降りるときは、おなかに隠れ足元を見ることができず、とても危険な状態であることを男性パートナーに経験してもらっていました。

沐浴体験は、赤ちゃんの人形を使って行われました。最初に講師の保健師から、赤ちゃんの抱き方や支え方を学び、沐浴についての説明を聞いて流れをつかみます。各テーブルには保健師が1名ずつ配置され、アドバイスをもらいながら、顔を拭いたり、体を洗ったりしました。また、からだを洗い終わった後は、おむつの付け方や、服の着せ方などについても体験していました。多くのテーブルでは、プレパパが率先して体験を行っている姿がありました。

この講座で大切にされていることは、**子育てはパパとママが協力して行うものであること。また、しっかり相談して行うものであることを、体験を通して学んでもらうことです。**

特に、新生児期の子育ては、母親に負担がかかるので、その負担を減らすための工夫を、子どもが生まれる前に、夫婦でよく相談しておくように、保健師から指導されました。

《妊婦さんメニュー》

- ・育ママサロン
- ・プレママ赤ちゃんのお世話講座
- ・沐浴講座

《夫婦メニュー》

- ・パパ 妊婦さんに変身
赤ちゃんをお風呂に入れてみよう！
- ・パパにもできるよ！ 楽なお産ストレッチ

《ファミリーメニュー》

- ・産科医からのメッセージ 赤ちゃんの命を守るために
- ・優しさ育て！ 木のスプーン作り



《参加者の感想》より

- ・出産前に体験することができて良かったです。
- ・夫婦で参加できて、意識が高まりました。
- ・お互い支えあうことが、とても大切だと感じました。
- ・夫が、少しでもおなかの重みやちょっとした動作をとることの辛さを分かってくれたみたいなので、良かったです。

